



さいたま市介護支援専門員協会
ロゴマーク

STARTS NEW

Vol,37

2015年春号

平成26年度 第5回全体研修（行政合同研修）

第6期介護保険制度改正と求められるケアマネジメント

～地域包括ケアシステムとケアマネジャーの役割～

開催日時 平成27年3月19日（木）13時45分～16時45分

開催場所 市民会館うらわ コンサート室（805）

年度最後の研修会となりました。毎年度末は行政との合同研修会となっております。

また、特別に非会員の方も会員同伴での参加を受け付けたところ、会場に入りきれないほどの参加者が集まり、大盛況でした。

初めに、宮本会長から介護支援専門員の役割やあり方についてお話があり、当協会の事業計画とホームページについての紹介がありました。平成27年度は、4月と8月に介護

保険制度改正が行われます。

そこでさいたま市保健福祉局福祉部介護保険課 課長補佐 佐藤晴三氏より左記のとおり、主な介護保険制度改正のポイントについてご説明をいただきました。

地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平ということ、国の示しているメニューを平成27年4月から順々に行い、法的にも期限が決まっているので全国的に国の作った仕組みを事業として進めていくこと



になります。

平成27年4月より

- 1 介護報酬、介護保険料の改定
- 2 介護老人福祉施設の入所基準の変更

- 3 複合型サービスの名称の変更

- 4 多床室の室料相当分が居住費に移行

平成27年8月より

- 5 介護保険負担割合証の発行

- 6 高額介護サービス費等の一部の上限額の変更

- 7 高額医療・高額介護合算制度の限度額の変更



- 8 一定以上の所得者の利用者負担が2割へ変更

- 9 食費・居住費の補足給付の適用条件の変更

※平成29年4月より、さいたま市は、介護予防・日常生活支援総合事業を開始

今回、講師にケアタウン総合研究所 所長 高室成幸氏をお招きして、右記のタイトルをテーマにご講義をいただきました。

『介護保険が始まって15年が経ち、この5年間で成熟期にきている。団塊世代の方が現在65歳だが、75歳になる10年間で準備期間にあて、今までの15年間の反省を含めた見直し、そしてこれからの介護保険の大改正になっているのではないのでしょうか。』

ケアマネジャーの仕事とは何か？

その人の暮らしを支えることが役割で、サービスの調整をしていくのは業務の一つであることをしっかりと認識をしなければなりません。例えば、訪問中に気になる家が見つかったり、見つけたら地域包括支援センターや民生委員へ伝えることも、業務の中の仕事ではないかと思いま

す。ケアマネジャーは「地域の目になる」・アンテナとなり、介護保険サービスのみではなく、地域との調整役となつてほしいと思います。

高齢独居・生活困窮・多死時代到来・認知症の急増・重度者の増加・高層マンション居住者の高齢化など、マンションのセキュリティが充実する一方、孤立しがちになる可能性が高くなっています。そのため、マンション管理組合との交流（連携）も重要になっていきます。

認知症の方が全国で年間1万人も行方不明になっている事実があります。場合によっては身近な人が行方不明になるかもしれないという緊迫感を持つてほしいと思います。

暮らしのリスクとして、買い物へ行くことができなくなる、病院へ行くことができなない、認知症になった高齢者による近隣トラブルも増加傾向にあります。例えば、家電の火災事故もその一つで、タコ足配線、コンセントが埃だらけになっていませんか。その気づきも大切です。

災害や犯罪、最近ニュース等でも話題になりましたが、女性が高齢の男性を狙う犯罪。なぜか？それは孤独で、親族と縁が切れている、特別な持病やお金を持っているなどの理由があります。その手口等を知って



おくことで未然に防ぐことができます。

悩みやカウンセラーの役割を担うべきではないでしょうか。

ケア資源のケアマネジメントは一つの仕組み（介護保険制度のルール）、その仕掛けとしてサービス担当者会議を行います。チームケアとして、皆で情報共有し、皆で決めることで責任の分散、役割を認識し、行っていくことが、「多職種連携と協働」のシステム化、すなわち、「地域包括ケアシステム」です。

今回の制度改正の対応策として、

- 1 中重度対応できる人材の確保と育成
- 2 認知症ケアの専門性とスキルの向上・人材確保と育成、地域と医療連携及び地域貢献
- 3 リハ強化対応できるケアプランの質の向上
- 4 看取り介護の拡充への対応とし

施設ケアマネ研修会の報告

「リフレクションの手法を用いた事例検討会」

開催日時 平成27年1月31日(土) 13時30分～16時30分

開催場所 プラザウエスト第2セミナールーム(桜区)

講師 師 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科 峯尾武巳氏

今年度、経験年数別に3回のシリーズで開催し好評を得た、峯尾先生によるリフレクションの手法を用いた事例検討会。施設ケアマネ研修会では、始動した平成18年度から毎年、峯尾先生をお招きして研修会を開催してきたが、平成23年度からは、リフレクションをテーマとした研修会を開催しており、今回が4回目となった。

昨年度の研修では、定員を大幅に上回る申し込みを受けたにも関わらず、研修当日、大雪に見舞われて予定の半数程度の参加に留まったが、今

て、本人、家族とのインフォームドコンセプトの重要性、看護師、介護職との連携強化、介護の意識改革と教育

最後に、地域ケア会議への居宅介護支援事業所の役割は、地域での尊厳あるその人らしい生活の継続ができるためであります。今後、自立支援に資するケアマネジメント支援、地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の把握を図っていくことが重要であります。』

5 ケアプランと各個別ケアプランとの連動性のチェック、質の向上

明、事例検討の意義などを講義頂いた後、ペアで互いの事例を交換しながら、自分自身の心の動きや行動の振り返りを行った。

年は天候に恵まれて24名が参加した。研修は、二名一組のペアを組んでの演習であったが、途中休憩を挟んで前半は主に講義が、後半は演習が主となった。

前の準備に負担が大きくて大変との思いが強かったが工夫できることが学べた」「困っていたケースに糸口が見つかった」「施設でも他の事例でリフレクションをやってみようと思う」などの感想が聞かれた。また「専門職としての客観性を意識することが大切」「書くことによって自身の考えのブレを修整して整理出来る」といった理解を得られた方もいた。

前半の講義では、主体的に学ぶとどういふことか、介護支援専門員が抱える悩みや課題についての話から始まり、特にケアマネジャーにとってソーシャルワークの視点を持つことの必要性、利用者の話を繰り返し良く聞くことの意義などについての興味深い講義も聞くことができた。

後半はリフレクションの手法の説明、事例検討の意義などを講義頂いた後、ペアで互いの事例を交換しながら、自分自身の心の動きや行動の振り返りを行った。

講義を受け、感じたことは、ケアマネジャーの役割は、街中を移動しているといろいろな場面に遭遇することが多く「地域の目となる」仕事だと思えます。多くの人の目があることで、住みやすい街づくりを作っていくことが大切であることを認識しました。

発つご予定があり、恒例の打ち上げとならなかったことがスタッフとしては心残りであったが、今年も充実した研修会を開催できたことに、先生を始め関係者一同の皆様にご礼申し上げます。報告を終了としたいと思います。



ちょっと coffee break

感謝！感謝！ 会員Y

私の一番の楽しみは年に一度の海外旅行です。

今まで行った国は数十カ国。最近、印象に残っているのはスリランカです。信心深い国なので、お寺では門に入ったら、裸足です。普段裸足で外を歩くことがないので、痛いし、熱いし、しかたなく靴下を履いて歩きました。まわりは皆裸足なので、すぐ外国人だとわかってしまいます。

海外に行くと、日本のことがよく見えてきます。例えばトイレについて…世界中で一番トイレがきれいなのはまちがいなく日本でしょう。ウォシュレットはエネルギーの無駄使いだという批判がありますが、海外から見れば当然かもしれません。海外ではトイレトペーパーがなくて、片隅に水の入ったバケツと柄杓のみなんてこともあります。日本では何気なく、トイレに行きますが、海外ではチップが必要な所も多いので、小銭を用意したり、気軽に行けません。

日本の常識は日本でしか通用しません。海外に行ったら、その国のルールに従わなければなりません。日ごろ当たり前前とっていることが国によって、また人

によって違うということに気づかされます。

旅行先はどうせ行くなら、ちょっと変わった国がいなと思っています。職場では旅行の行き先がクイズになって盛り上がることもあります。

ケアマネの仕事は仕事だけでなく、休みの日にも気になることがあり、ストレスが溜まります。だからこそ、日常から離れたまったく違う世界に行きたくなるのかなと思います。(かなりこじつけみたいですが…)

こうして私が旅行に行けるのも利用者さんや職場の同僚のおかげです。利用者さんからは気をつけていってらっしゃいと気持ちよく送り出していただき、私がいな間、私の担当する利用者さんからの相談にいやな顔せず、対応してくれる職場の皆さんにひたすら感謝、感謝です。

世界中でいろんな事件が起こり、不安な昨今です。どうか世界が平和になりますよ～に。

そして、今年はどこへ行こうかな…
さすらいの旅人でした



平成 27 年度 さいたま市介護支援専門員協会

「通常総会 及び 全体研修会」開催のご案内

平成 27 年 5 月 30 日 (土) さいたま市民会館 8F コンサート室

通常総会 午後 1 時 45 分～2 時 50 分

全体研修会 午後 3 時 00 分～4 時 45 分

演題 「師匠と弟子 親と子」

講師 三遊亭鬼丸師匠 (ラジオ：NACK 5 GOGOMONZ メインパーソナリティ)

事務局

〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町 2 丁目 1864-10

JS 日進 さいたま市社会福祉協議会内 さいたま市介護支援専門員協会

電話 048-782-6839 FAX 048-782-6840

リニューアルしたので見てくださ～い!!

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>

さいたま市介護支援専門員協会

検索